

【8/4再送】

第21回全日本少年少女空手道選手権大会実施要項

公益財団法人 全日本空手道連盟

- 1 大会名 第21回全日本少年少女空手道選手権大会
- 2 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 3 後援 (予定) スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 (公財)日本オリンピック委員会
(公財)日本武道館 日本武道協議会 読売新聞社 朝日学生新聞社 NHK
(公財)笹川スポーツ財団 (公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
空手道マガジン月刊 JkFan

- 4 場所 東京武道館
住所：〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1
電話番号：03-5697-2111
交通：東京メトロ千代田線・JR常磐線 綾瀬駅東口下車
(東綾瀬公園内を通り抜け徒歩5分)

- 5 日時 1日目：2021年8月28日(土)
2日目：2021年8月29日(日) ※入替制で競技を進行する。別紙

28日(土)				29日(日)			
8:30	開場	8:30	開場				
9:30	開始式	9:30	形競技開始式				
10:00	組手競技開始	16:10	形競技終了				
16:30	組手競技終了	16:10	閉会宣言・形競技表彰及び 文部科学大臣旗授与				
17:10	1日目終了						
		16:415	終了				

- 6 種目 小学生1～6年生の男子・女子の組手及び形競技個人戦

- 7 参加人員 学年別・男女別それぞれ1名を各都道府県代表選手とし、監督・コーチを含め、次表のと通りの参加数内訳とする。

種目	組手競技				形競技			
選 手	男子	1年～6年	各1名	計6名	男子	1年～6年	各1名	計6名
	女子	1年～6年	各1名	計6名	女子	1年～6年	各1名	計6名
	組手 計12名				形 計12名			
	選手(男・女)計 24名							
監督・コーチ	監督1名、コーチ2名							
総人員	27名							

- (1) 同一選手が組手と形の両方に出場することは認めない。
- (2) 本大会（第21回）はシード権での出場選手はありません。
シード権出場選手については、前回大会の学年の部の優勝者、準優勝者、第3位の選手に当該種目の出場権およびシード権を与えられることになっております。前回大会（第20回）は開催中止の為、第19回大会で得たシード権は消滅となります。

8 競技規定

- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定により行う。
- (2) **組手競技個人戦**
 - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - (イ) 決勝戦は、各コートにおいて学年別男女別に競技する。
 - (ウ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
 - (エ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。競技時間終了時に同点で「先取」がない場合は、「判定」をとって勝敗を決する。
- (3) **形競技個人戦**
※別紙参照「第21回全日本少年少女空手道選手権大会 形競技個人戦 解説」
 - (ア) ①各コートにて学年別男女別に行う。
 - ② 1回戦からベスト8まで
 - ・旗方式(勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決)、トーナメント方式で行う。
 - ③ 準決勝ラウンド
 - ・8名の競技者は2つのグループ(Aグループ、Bグループ)に分けられる。
 - ・演武の順番は、抽選で決定する。
 - ④ 3位決定戦
 - ・Aグループの2位とBグループ3位、Aグループ3位とBグループ2位で行う。
 - ⑤ 決勝戦
 - ・各グループの1位同士で行う。
 - (イ) 準決勝ラウンドから得点方式で行う。
準決勝ラウンド・3位決定戦は2名同時、決勝戦は1名ずつ演武する。
 - (ウ) 準決勝ラウンドからAグループを赤帯、Bグループを青帯とし、以降、決勝戦・3位決定戦まで帯の色は変わらない。
 - (エ) ①1回戦からベスト8までは、全空連基本形一～四（ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安、又はピンアン初段～5段）の中から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。
 - ② 準決勝ラウンド(ベスト8)は、全空連第1指定形、第2指定形、または上記①の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。
 - ③ 決勝ラウンドは、①②で演武していない形を選択する。
 - (オ) 準決勝・決勝ラウンドで同点の場合、以下の事項を順次適用する。
 - 1. 技術面の得点の高い方の選手
 - 2. 競技面の得点の除外されていない最低点の最も高い方の選手
 - 3. 1, 2でも同点の場合、形の再演武を行い勝者を決定する。
 - ・準決勝ラウンドは(エ)②で選択した同じ形を演武できる。但し①で選択した形は演武できない。
 - ・決勝ラウンドは(エ)①②③で選択した以外の新たな形を演武する。但し準決勝ラウンドで再演武した同じ形を演武できる。

(カ) 大会審判団は、全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

(注1) 形の呼称は従来のとおり形名だけとします。(基本形という名称は不要)

(注2) 基本形の評価は、原則として競技規定に従いますが、一致性を重視する為、

①挙動の増減又は挙動の順序間違いは違反で負け、②変化を加えた場合(立ち方、緩急、技の使い方)は大幅な減点、③その他は減点とします。

(4) 組手安全具

(ア) 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、メンホーNo. 6以上、マウスシールド(メンホー口元に装着する)ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。

(イ) 小学3～6年生男子組手出場選手は必ずセーフティカップを着装すること。

1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。

(ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、充分注意すること

(5) 服装

(ア) 監督・コーチ・選手は競技規程に沿った清潔な白の空手着を着用すること。空手着メーカーについては指定しない。

空手着の紐は結ぶこと。紐なしの空手着は不可。

なお、左胸に都道府県名を入れること。(7ページ参照)

監督(1枚)・コーチ(2枚)・選手のIDカードを発行する。

監督・コーチはマスク、フェイスシールド(持参)を着用する。

選手は競技中以外はマスクを常時着用のこと。

※マスクは白・無地

※フェイスシールドは大会会場で販売します。(1組500円)

(イ) 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。

(ウ) 出場選手全員に参加章(ワッペン)を交付するので、それを競技時着用 of 空手着の左肩口に必ず縫い付けること(7ページ参照)

(エ) 赤帯・青帯は各自全空連で検定された帯を用意し着用すること。主催者では用意しない。

(オ) 空手着の胸・首後ろの製造業者商標は白布で隠すこと(7ページ参照)

(6) 12歳未満の禁止事項について

(ア) 公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定「14歳未満の空手競技・組手試合(12歳未満)」を適用する。ただし、出場試合数及び安全具については本大会実施要項の通りとする。

9 表彰

(1) 文部科学大臣旗の授与

男女別に総合得点の最上位の都道府県に対し、文部科学大臣旗・同大臣賞状をそれぞれ授与する。得点及び順位決定は次による。

(ア) 国体方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

組手 1位 8点 2位 7点 3位 5点(2名) 5位 2. 5点(4名)

形 1位 8点 2位 7点 3位 5点(2名) 5位 3点(2名) 7位 2点(2名)

(イ) 総合得点が同点の場合は優勝者数の多い都道府県に授与する。

(ウ) さらに同点の場合はすべてを同点優勝とする。

※試合は1回戦から決勝戦、表彰式まで通して行う。

決勝戦終了後、組手・形の優勝1名 準優勝1名 第3位2名、組手・第5位4名、形・第5位2名(3位決定戦の敗者) 第7位2名(準決勝ラウンドの各グループ4位)は必ず表彰式に参加すること。

- 10 審判員 大会審判団は、公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。
 (1) 各都道府県が推薦した全国組手審判員及び地区形審判員以上の資格を有する審判員を大会審判員に委嘱する。なお選手が参加する都道府県は最低1名以上の審判員を推薦すること。
 (2) 上記にかかわらず、大会審判員に不足が生じた場合は、関東地区から委嘱する。
- 11 安全管理 (1) 選手は、本大会前1週間以内に各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
 (2) 傷害保険を、主催者側の負担により参加選手全員に付保する。
 (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
 (4) 保護者、監督又は選手本人において、出場選手が利用できる健康保険証を携行すること。
- 12 出場資格 (1) 出場選手、監督及びコーチは、公益財団法人全日本空手道連盟会員であること。
また「JKF 会員マイページ」に登録をしていること。
 ※会員登録だけではJKF 会員マイページ登録をしたことにはなりません。
 ※申し込み時に会員登録・JKF 会員マイページが完了していない場合は出場できません。出場選手でマイページ未登録の方は、別途案内(登録方法)をご送付しますので、下記までご連絡ください。
 【問合せ先】全日本空手道連盟 会員担当 03-5534-1951(平日9時～16時半)
- (2) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。
 (3) 出場選手は、各都道府県連盟が選出した代表選手であること。
 また全空連段位または級位を保有していること。

会員情報に段位・級位の登録をする方法について

- 段位保有者→段位免状または受審申請書(審査日・申請者の記載)のコピーを大会担当者宛てに送付する
 級位保有者→当該団体会長が確認し、内容に相違ない事を証すること
 (全空連に書類等は提出不要)

- 13 出場申込 (1) 1名1種目とする。
 (2) 選手出場費として1人3,000円を納めること。
 ※納入後の出場料は返金しません。
 (3) 申請方法：WEBまたは申請用紙

WEBでの申込み

- ・WEB 申込の操作マニュアル(令和3年3月に送付済)を参照
- ・出場費支払い方法：クレジットカード又はコンビニ決済

申請用紙での申込み

[申込書送付先]

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
 公益財団法人全日本空手道連盟事務局「第21回少年少女大会」宛

[振込口座]

銀行名	みずほ銀行
支店名	虎ノ門支店
口座番号	普通 2955286
フリガナ	ザイゼンホカテドウルメイ
口座名義	公益財団法人全日本空手道連盟

※必ず都道府県連盟で一括申込みをしてください。

14 申込期限 申込受付開始日：2021年5月1日～5月31日

* Web：2021年5月31日(月)24時厳守

* 郵送：2021年5月31日(日)必着

※申込期限を厳守してください。期限後は一切受け付けません。

15 宿泊等

- (1) 宿泊・交通費は自己負担とする。
- (2) 主催者による宿泊斡旋は行わない。
ただし、別途、対応の旅行会社 近畿日本ツーリストを紹介する。
後日郵送でご案内する。

16 肖像権について

本大会は、大会の様態をインターネットのライブ配信を予定している。観戦できない保護者、関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟が認めたライブ配信業者等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報(氏名、所属など)、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。

17 その他

- (1) ゼッケンは全空連で作成し、8月中旬頃までに各都道府県連盟あてに送付する。各連盟において査収の上、出場選手に配布すること。その際、ゼッケンが縫い付けられていないと参加できないことを告知し、しっかり縫い付けるよう指導すること。

なお、種目・男女別のゼッケンの色分けは次のとおり。

	男子	女子
組手	黒	赤
形	緑	黄

- (2) ゼッケンと併せて参加章(ワッペン)を送付するので、各都道府県連盟において出場選手に配布し、大会実施要項のとおり左肩口への縫い付けを指導すること。
- (3) 出場申込書提出後の選手の変更は認めない(監督・コーチの変更も不可)。
- (4) 各コートでの受付(集合)時間に間に合わない場合は参加できないので注意すること。
1日目(組手) 受付(集合)時間 3・4年生：9：15～9：30
◆1、2、5、6年生は前のグループ競技中に受付を行う。
2日目(形) 受付(集合)時間 3・4年生：9：15～9：30
◆1、2、5、6年生は前のグループ競技中に競技中に受付を行う。
- (5) 監督は当日欠席する選手が出た場合、開場後ただちに欠席届を提出すること。
欠席届は、大武道場出入口に設置の所定のボックスに、召集時間30分前までに提出すること。
- (6) 8月28・29日の選手更衣室「第一武道場(女子選手練習場)、第二武道場(男子選手練習場)」の使用は、組手競技出場選手に限る。形選手の使用は一切認めない。また保護者が入場することを禁止する。

【選手とIDカードを持つ監督及びコーチのみ入場を許可する】

※小学1～3年生の保護者1名は入場可（IDカード付与）。但し第一武道場（女子選更衣室）に、男性は入室できない。

- (7) ~~選手・監督・コーチは1階 更衣室を使用すること。選手は更衣室の他、練習会場（武道場2階和室）も利用可能。~~
- (8) 参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当り、円滑な大会運営、事故防止に協力すること。
- (9) 観客席については学年ごとに指定された席に座ること。
- (10) 転倒等の雑踏事故防止のため、入場口付近の混雑が落ち着くまでのあいだ（開場から約1時間程度）は館外にできることができないので留意すること。

(11) 東京武道館の利用に関して、以下の行為を禁止する

◆観覧席確保のために、大会前日から東京武道館入口周辺にガムテープを使用してブルーシート等を貼って場所取りをし、飲酒すること。
(出場選手関係者の飲酒が発覚した場合は、所属都道府県役員及び関係者の入館をお断りさせていただく場合があります。またコンクリート面へのガムテープの使用は禁止されておりますので、絶対に使用しないで下さい)

◆大会当日に東京武道館敷地内ならびに周辺の公園等で練習を行うこと
(館外での練習は終日禁止)。

◆館内にくつを直に持ち込むこと
(必ずくつ袋に入れてから入館すること。くつ袋は各自で準備すること。全空連では配布しない)。

◆観客席及び練習場等に縄を張ったり、荷物等を置いたりして占拠すること。
また大会初日終了後に荷物を観客席に置いて帰ること。

◆東京武道館周辺に一般車及びバスの駐車をする事
(バスを利用する場合は、別添資料にある駐車場案内図を参照の上当該駐車場に直接相談すること。なおバスによる乗降の場所は綾瀬駅前を利用すること)。

◆館内通路等において、ブルーシート等での場所取りや座り込みを行うなど、救急搬送の対応や有事の際に安全な大会運営に支障をきたす行為を禁止する。

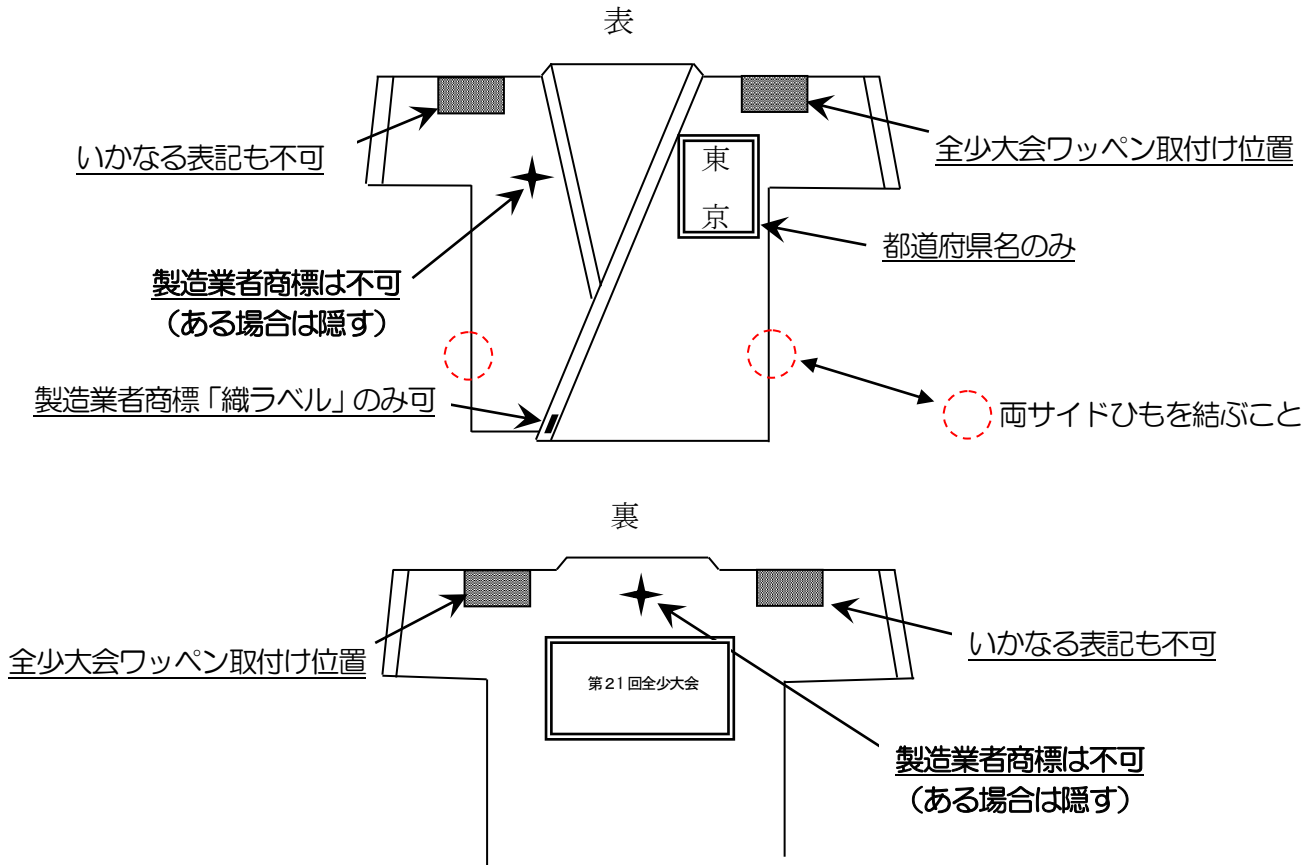
(13) 本大会は、東京武道館の収容人数の適正化を図るため、選手1名につき保護者1名の入場とする。IDカード付与（詳細は別途案内）

(14) コロナ対策等については別途案内

大会当日は館内入場口で選手・監督・コーチ・係員は検温記録（大会前2週間）、保護は連絡先等確認用紙を提出、検温（37.5℃以上の場合、入場不可）を行ったうえで、館内入場、大会出場の可否を判断いたします。
入場者はマスク着用すること。

ワッペン・ゼッケン・胸マークについての注意事項

空手着の製造業者商標のラベルの表記については、製造業者が上衣の裾表側、ズボンの表側（左右どちらか）にはじめから付けられた「織ラベル」は可。今大会で指定された以外のワッペン、刺繍等は一切認めない。※各流派のオリジナルラベルは認める。



1. ゼッケンの色は右図のとおりです。
2. ゼッケンはしっかり縫い付けてください。
3. ワッペンは「左肩口」に必ず縫い付けてください。
4. 胸マークのサイズは「縦15cm×横10cm」です。
5. 上記の「都道府県名ワッペン」、「参加章ワッペン」以外のワッペン等を縫い付けることは認められません。なお、空手着への氏名の刺繍、また帯への氏名、道場名の刺繍は問題ありません。

	男子	女子
組手	黒	赤
形	緑	黄

以上、厳守くださいますようお願い申し上げます。